

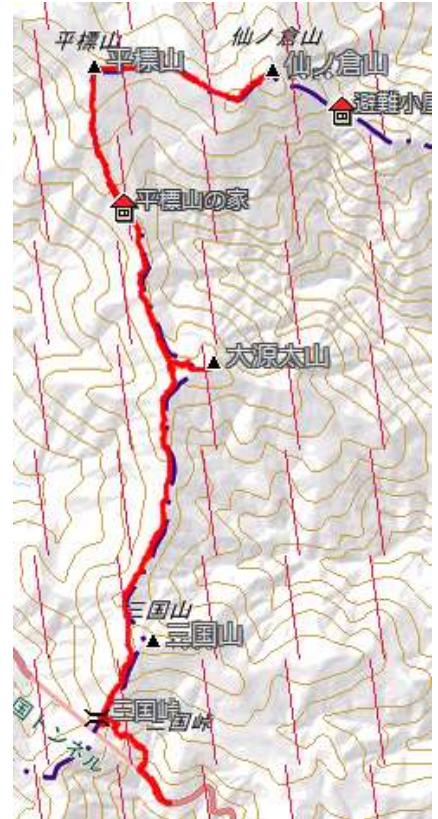
## 平標山・仙ノ倉山 山行報告

- 【山 域】 谷川連峰  
【ルート】 三国峠ー平標山・仙ノ倉山  
【登山方法】 ハイキング  
【日程】 2019年9月7日  
【参加者】 CL 佐藤(健) 小宮山(記録)  
【行 程】

9月7日 5:30~6:00 三国峠上州口 P~9:00 平標山の家~  
10:00 平標山~10:30 仙ノ倉山 11:00~11:30 平標山~  
12:20 平標山の家~12:55 大源太山分岐~13:15 大源太山~  
14:40 三国山分岐~15:00 神社~15:40P

- 【累積高度】 +1742m、-1742m  
【距 離】 19 km

がっつり歩くコースという事で、三国峠から平標~仙ノ倉コースを行ってきました。通常は平標登山口から登るそうですが、今回は距離と累積標高のあるこのコースに。最後の下りがミョーに長く(同じ所を登ったはずですが)、「下りごたえ」のある山行でした。



### 【内容】

9月6日 21時に千葉を出発、道の駅月夜野で仮眠して翌6日 5:30に道の駅を出発し、6:00より三国峠上州口 Pより登山を開始する。駐車場は自分たちの1台ともう1台、大源太山を往復するという単独の方のみ。



トンネル手前右から入り、静かな道をまずは三国峠まで登る。周囲の草がきれいに刈ってあり、整備されていた。立派な鳥居の神社を過ぎて、三国山の根元まで進む。途中から木道になり、淡々とひたすら登る。行きはそれほど大変とは思わなかったが、帰りのこの道が非常~に長く辛く感じた。同じ所を通っているはずなのだが…、オカシイ。まだそんなことは

つゆ知らず、結構調子よく進む。けど暑い。汗がダラダラで頻繁に水分補給する。この日は2リットル持っていたが、下山までに全部飲み切ってしまった…、しかも小屋でも谷川のおいしい水をたくさん飲んでいる…、佐藤 CL はそんなに飲んでいないみたい…。山慣れた人はあまりたくさん飲まなくても調子を崩さないとか。水分補給は大切だけど、私はちょっと

効率が悪いのかも…。

三国山頂上への道と巻道の分岐に到着。今回の目的は平標・仙ノ倉であり先が長いので巻いて進む。樹林の中を通り三角山に到着する。眺望はなく周りはガスガス。一休みして先を急ぐ。三角山を下ると緩い稜線が続く。尾根を挟んで、西に東にと道がスイッチしている。西側はシットリした樹林帯、東側は明るく乾いた笹の茂みと表情がそれぞれ異なる。笹に隠れたトラバース気味の道は狭く、谷側は結構急だ。ぼんやりしていると転落しそう。時々道が崩落していたりする。ガスが取れはじめ、本日の最終目標である仙ノ倉山が遠くに見え隠れする。わ～、あそこかあ…、でも見える所は近い、という自分の経験値(個人の感想です(;・∀・))を信じてがしがし進む。



まだガスガス



はるか彼方の仙ノ倉山



ヒキガエル

アップダウンは緩いけど延々と続く丘を進み、平標山の家に着。谷川のおいしい水が流れており、水分補給と CL は洗顔。気持ちよさそう。女性は諸般の事情があり洗顔はパス。



まだガスガス



平標山の家



谷川のおいしい水で洗顔

再び木道歩きとなる。空が晴れてきて、気持ちのいい青空。まあい丘を頂上目指して木

道をテクテク。テクテク。テクテク…ここが頂上かなと思ったら、その先にまた丘が…。ん？  
というのを2～3回繰り返し、「また騙されるんじゃないの～?!」とやさぐれた気分になった  
頃に本当の平標山頂上に到着した。



青空が出てきた



「この上が平標頂上か?!」×2～3回



やっと平標頂上、でもまだ先がある



平標から仙ノ倉をみるが雲の中



平標から仙ノ倉へ緩いコルを抜ける 「この上が仙ノ倉頂上か?!」×2回



写真をとって、仙ノ倉山を目指す。ゆる～いコルになが～く木道が続いている。景色  
がいいので気持ちよく進む。仙ノ倉の頂上まで、また、ん？があつたが、やさぐれる前に到  
着した。



仙ノ倉から平標へ戻る



小屋までの長い下り

写真をとって、お昼にする。結構風が強かった。一休み後に下山を開始する。またまた長〜い、ゆる〜い道を下って登って平標山へ。そのまま、また長〜い木道を下る。

帰りが、な、長い…。それでも平標山の家までは元気に下り一休み。暑くてまた谷川のおいしい水をゴクゴク飲む。

緩い稜線を再び戻る。お天気は変わらずよいのがありがたかった。予報では下り坂なので、このまま持つことを祈る。途中で大源太山の分岐に差し掛かる。二度と来ないかも知れないし、せっかくなので行くことにする。地図では15分ほどの緩い登りなのだが、木々や曲がった道で先が見通せず、また、ん?頂上?違った…と思いつつやっと着いた。地味に長く感じた。が、そのかいあって頂上は展望がよく気持ちいい!登ってきた平標山や仙ノ倉山がよく見える。おすすめの場所です。気持ちがいい場所で一休みして、今日の山行に思いを馳せた。でも、後で実感したが、まだまだ道は長かった。



大源太山分岐



山頂! 展望よし



平標・仙ノ倉がよく見える

大源太山分岐まで戻り、本ルートの下山を続ける。地図をよく見たら、下山の半分も進んでいない事に気が付き、ぼちぼち「長いなあ…」と思い始める。でも道は緩く、展望も良いのでそれなりに気持ちよく進む。暑いのは相変わらずで、水の消費が進む。

かなり疲れたころ、目の前に小高い山が…。「あれ、登るんですか？」と佐藤 CL に尋ねると、三国山は巻くとの返事でほっとした。が、なんだか道はどんどん頂上目指して登っている??実は三国山の手前のピークで、その向こうが三国山であった。力を振り絞って最後の登り…、つ、つらい。行きに通っているはずだが記憶無し。

ようやく三国山分岐まで戻る。かなりヘトヘト。後はもう少し下るだけ…と思っていたら、神社までの木道の下りが延々と続いているのが見える…。到着地点がはるか下の方に見える。まだこんなに標高高いんだあ…あれ～こんなに登ったかなあ？などとわかには信じられない…。このくだりが長くて長くてつらかった…。時間にして20分余りなので、それほど長時間ではないが、実際の時間以上に長く感じた。佐藤 CL も「こんなに登ったかな？」と言っているのと同じ感想の様だ。三国峠の神社にやっと帰還した、。でもまだ参道の下りが…。15:40 ようやく駐車場に到着した。いつも下りは「こんなに登ったかなあ。」と思うが、今回は本当に下りが長く感じ、下りごたえのある山行だった。



ここから辛い木道の下りが始まったが、ショックで写真なし 三国峠の神社でしばし休憩

当初、なんとなくゆったりした山行のイメージだったが(たいらっ標だから)、やはりがつり系でした。

佐藤 CL、運動した感満載の山行をありがとうございました。

記録 小宮山